



佐々木茂
(市民創風)

「森林バンク制度」への市の対応は

問 秋田県の県土の約4割を占める民有林の8割は私有林であるが、零細なため放置されている人工林を「森林バンク制度」の開始に当たり市はどう対応するのか。

答 市では来年度から森林所有者の意向調査を実施していく。この調査により市が経営管理を受託する森林については「経営管理権集積計画」を作成し、林業経営に適した森林は意欲のある林業経営者に「経営管理実施権」を設定し再委託を行う。なお、林業経営に適さない森林は市が直接管理していく。

観光パンフレットの設置場所は

問 観光パンフレットは市内の施設や見どころなどを観光客にPRし、広範囲に誘客する



本市の観光パンフレット

答 本市の観光パンフレットは観光地の紹介「四季彩」と体験メニュー紹介の「ゆりほん」の2種類があり、年平均1万5千部を印刷している。市内では観光案内所や道の駅などの観光施設に、市外では秋田空港や秋田駅にかほつとなどに設置しており、また外国人観光客向けに、英語、中国語、韓国語の3種類を作成している。

今後は市外の道の駅や観光施設などにも設置を依頼し、より広くPRに努めていく。



三浦秀雄
(高志会)

国内外から観光客を誘客し地域の活性化を

問 観光客の誘客に力を入れ、消費を増し、雇用も生む「将来に希望が持てる地域の創出」につなげては。

答 今年度は台湾から千人を超え、また今年（平成30年）タイ王国の学校を訪問し理事長に教育旅行をお願いしたところ、本市の学校と相互交流の「覚書」を来年度結ぶ事とした。広域的な観光誘客を積極的に行い、地域の活性化に努める。

風力と太陽光発電施設の本市へのメリットとデメリット

問 自然エネルギー導入は、税収や関連産業の創出、人材の需要など雇用にもつながると言われてきたが現状はどうか。

答 メリットは、固定資産税収入、土地の売買や借地



佐々木隆一
(日本共産党)

公文書・データなどの管理は

問 国の省庁における文書管理事務では、情報の隠ぺい、公文書改ざん、データのねつ造などと疑われる状況が報道されているが、本市の公文書、電子化された文書はどのように管理しているか。

答 行政文書管理規程で、紙文書、電子化された公文書の整理、保管を適正に管理してきた。今後も公文書は「国民共有の知的資源」を肝に銘じ、職務を遂行していく。

北海道ブラックアウト（全道停電）の教訓は

問 北海道胆振東部地震によりほぼ全域で停電するブラックアウトが発生し、道民の生活と営業に大きな被害が出た。北海道ブラックアウトからの教訓は。

料収入による地権者の収入増、土木工事・部品供給・メンテナンスなど新たな産業創出と雇用創出、風力発電に関しては事業者による基金を活用した地域振興施策、視察や観光客増加に伴う商業施設の活性化などである。

東京オリンピック前のパリンピック前の合宿誘致の状況は

問 由利本荘アリーナを核として活発な誘致活動を望むが、これまでの経過と状況は。

答 ハンガリー駐日大使の案内で大使館を訪問し、「ハンガリー・パリンピック組織委員会」の方々に会いお願いした。アリーナを高く評価し、帰国後各競技団体と検討していただくことになった。



答 局地的な地震などで県内の火力発電所が停止しても他の発電所の出力を上げカバーできるため、全域での長時間停電は起こりにくい。市では、これまで東北電力と災害時における協定を締結しており協力体制を構築している。



苫東厚真火力発電所の全景
(写真提供：北海道電力HPより)

小中学校にエアコンの設置を

問 国の補正予算で小中学校へのエアコン設置が創設された。補助率が高いので可能な限り設置すべきである。

答 小中学校全体における設置率は25%である。今後は熱中症対策をさらに進めるために普通教室へのエアコン設置を順次進めていく。

来年度予算編成に対する市の考え方は



大関嘉一
(市民創風)

問 各年度の自治体の設計図ともいうべき予算編成は、市総合計画新創造ビジョンの実現であり、そのためには限られた財源をいかに有効適切に使うかが重要であるが、来年度の予算編成に対する考え方は。

答 来年度は、予算規模にして15億円ほどの縮小を見込んでいる。羽後本荘駅周辺の整備事業等社会資本整備、市民生活の安定に向けての取り組みを強化し、新創造ビジョン後期実施計画と、財政計画との整合性を図り、地域経済の活性化、安全安心なまちづくりを展開する。

老人福祉施設における事故について

問 介護現場で事故が発生した場合、事業者や施設はその詳細を関係機関に届け出ることが義務付けられているが、市で

は報告基準や手順が定められているか。

答 介護事故については、県が定める「介護保険事業者における事故報告の取り扱い要領」で速やかに身元引受人、県地域振興局、保険者である本荘由利広域市町村圏組合に報告することとなっている。

森子大物忌神社

「十二神将」保護は

問 森子大物忌神社で国登録有形文化財になっているのは本殿、拜殿、幣殿のみで、十二神将は市の指定にもなっていないため、まずは市有形文化財に指定し、保護活動を始めようと思うが。

答 江戸時代ものとして12体全が揃って保存されている例は県内でも数少なく、県の協力を得ながら、平成22年度に記録作成の台帳整備を行った。文化財の指定には詳細な調査が必要であるが、県の教育委員会でも年次計画で神仏像調査をしているため、県と連携、協力して調査を行い、指定に向けて取り組む。

議会を見よう！知ろう！

▶ 次の定例会は2/15～3/19 ◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

議会を傍聴 ライブで！

当日、直接傍聴席（市役所本庁舎5階）へおいでください。

ケーブルテレビで生中継

本会議の様子を生中継でご覧になれます。

会議録で読む

議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、由利本荘市ホームページから見るることができます。

市議会カレンダー

● 3月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
2/3	4	5	6	7	8	9
		2月6日(水) 正午までに受理する 請願・陳情を審議 する予定です		14	15 本会議 (開会)	16
		19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	3/1	2
3	4 本会議 (会派代表質問 一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 常任 委員会	8 常任 委員会	9
10	11 常任 委員会	12 特別 委員会	13	14	15	16
17	18	19 本会議 (閉会)	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

議会の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)

議会目録

10月	3日	議会報編集特別委員会
	11日	議会報編集特別委員会
	11～12日	秋田県議会総務企画委員会県内調査来訪
	17日	議会改革特別委員会
	22～24日	会派「高志会」「公明党」行政視察
	25日	長野県佐久市議会行政視察来訪

11月	7日	福岡県うきは市議会行政視察来訪
	12日	東京都杉並区議会行政視察来訪
	14～16日	会派「市民創風」行政視察
	19日	横手市議会行政視察来訪
		教育民生常任委員会協議会
	21日	議会運営委員会
		議会改革特別委員会
	27日	山形県議会行政視察来訪
	30日	本会議（開会）
		平成31年度予算に対する各会派提言

12月	6～7日	本会議（一般質問）
	7日	議会運営委員会
	10～11日	委員会（議案審査）
	13日	総合防災公園整備特別委員会協議会
	18日	議会運営委員会
		本会議（閉会）
	26日	議会報編集特別委員会

議長公務(主なもの)

10月	15日	由利組合総合病院運営委員会
	17日	社会福祉大会
	18日	功労者選考委員会
	30日	市議会議員と由利本荘医師会との懇談会

11月	7日	全国市議会議長会評議員会
	9日	身体障害者福祉大会
	13～16日	各期成同盟会等要望活動
	26日	秋田県市議会議長会臨時会

12月	2日	日本体育大学体育研究発表実演会
	14日	鳥海高原矢島スキー場 スキー場開き
	19日	地域農業再生協議会総会

議長交際費

	10月	11月	12月
慶祝、協賛など	88,816円 (14件)	64,642円 (12件)	19,000円 (3件)
弔 事	80,000円 (3件)	0円 (0件)	0円 (0件)

議長公務・交際費の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。

市議会からのお願い

市議会では、飲食を伴う会合には
案内状に会費の額を明記していただ
くように申し合わせております。

皆さまのご理解とご協力をお願い
します。



10月26日 産業活性化議員連盟

地域農業活性化のために



秋田県立大学
長濱教授による
基調講演

農業活性化に
ついてのパネル
ディスカッション



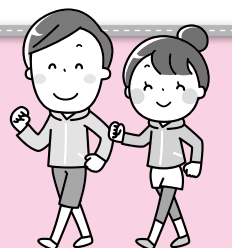
産業活性化議員連盟では、地域農業の振興、活性化について検討する機会とするため「地域農業活性化フォーラム」を開催した。

フォーラムでは、秋田県立大学長濱健一郎教授より「由利本荘市の未来を創るー地域農業の魅力と可能性ー」と題した講演を拝聴し、農業を取り巻く状況は大きく変化するが中長期的視野が重要であることや、農業を核とした産業を創ることが大切であると伺った。

その後「由利本荘市の農業の現状と今後の活性化に向け考える」をテーマにパネルディスカッションを実施。当議員連盟渡部功会長が進行を務め、農業関係機関、農業者ら4人のパネリストが現状について再認識をしながらもそれぞれの立場での取り組みを紹介した。先の見えない状況の中でも目標に向かって意欲的に挑戦する頼もしい意見などもあり、今後市独自の政策に活かしたいと強く感じたフォーラムであった。

11月5日 教育・スポーツ振興議員連盟

ナイスアリーナの積極的な活用を



昨年10月にオープンした東北屈指のナイスアリーナ。

市では、昨年7月に市総合体育館と合わせてミズノグループと指定管理の契約を結び、そのノウハウを活かした一流スポーツに触れることによる、アスリートの育成・スポーツ人口の増加と交流人口の増加を促進している。

また、「スポーツ立市宣言」などにより、健康寿命の延伸に寄与することとともに、災害時は避難所（場所）としても活用される総合防災公園施設の積極活用を図っている。

教育・スポーツ振興議員連盟では、指定管理者のミズノグループのナイスアリーナの活用・総合体育館との運営の兼ね合いなどを伺い、なお一層の活用について意見交換を行った。

その後、改めてアリーナの設備を視察し、アリーナ内で、インターバル速歩の体験も行った。



アリーナ施設の
視察



▲ ミズノグループとの意見交換会



▲ インターバル速歩を体験